

みちのだい育み塾 6月22日(月)

みちのだい育み塾
 発達障がいから見える世界

●日時 2026年6月22日(月)
 午前10:00~12:00

●場所 保内分教会
※参加費の目安ですがご興味のある方はお問い合わせください。

講師プロフィール
 小越ゆきえ先生
 ・高知市の天正愛媛分教会自派夫人
 ・看護師 ・男の子3人の母
 『発達障がいのある長男の子育て経験から、「どのように悩むママ達のお役に立ちたい!」と、児童発達支援など資格を取得し、ママ達のお話を聞く子育てサロン『ぶどうです。』を立ち上げ、現在も看護師として障害者病棟に勤務しながら、『障がいのある人もない人も、ぶどうのように丸い心でつながる社会』を目指して、活動しています。』

日時 6月22日(月) 午前10時より12時まで
 場所 保内分教会
 対象 男女問わずどなたでも参加してください。
 講師 小越 ゆきえ先生

鬼北町在住 天理教天正愛媛分教会 会長夫人
 看護師 男の子3人の母親

○発達障がいのある長男の子育て経験から、「同じように悩むママ達のお役に立ちたい!」と・児童発達支援士・心理カウンセラー・不登校支援など資格を取得し、ママ達のお話を聞く子育てサロン『ぶどうです。』を立ち上げ、現在も看護師として障害者病棟に勤務しながら、『障がいのある人もない人も、ぶどうのように丸い心でつながる社会』を目指して、活動しています。

第1回「愛媛教区 教会勇み塾」

だめの教えと他宗教
 (だめの教えって素晴らしい)

日時 6月28日(日) 10時~15時
 場所 教務支庁 教会長
 対象 教会長
 講師 瀬戸 嗣治先生
 川之江部属 ことぶき布教所長
 元天理教校講師

参加費 千円(お弁当、お茶代含む)
 受付 9時~9時50分
 持参品 筆記具

第1講 簡単な自己紹介と私の原点
 カルト宗教について
 第2講 だめの教えと他宗教
 第3講 だめの教えと他宗教2
 第4講 質問に答えて

【読書会配本】のお知らせ
 橋本武人 著
 『「元の理」と人類の歩み
 ー人間はいかに生きるべきか』
 1540円(税込み)

天理時報手配りの予定
 6月の手配りの予定です。

3日号	29日(金)	到着予定
10日号	5日(金)	到着予定
17日号	12日(金)	到着予定
24日号	19日(金)	到着予定

教区・支部6月予定表

1日(金) 午前9時30分
 支部にをいがけ 愛西分教会

2日(火) 午後1時
 支部例会 三崎島分教会
 ※県庁提出書類持参のこと

7日(日) 午前8時
 ハートクリーン
 ポケットパーク

12日(金) 午前9時30分
 少年ホームひのきしん 1班

栗の花 ・樺(ぶな)科・6月上旬~6月中旬頃、開花。・花は芳香がある。・「栗花落」と書いて「つゆり」または「つゆ」と読む。栗の花の匂いは、一般的に甘酸っぱく、少し生臭い、ツンとした独特の匂いと表現され、特に男性の体液(精液)の匂いに例えられることが多いです。6月頃に開花し、この特有の匂いで虫を誘い、受粉を行っています。

支部情報ねっとへのQRコード →



全教一斉ひのきしんデー塩成会場開催

立教189年4月29日全教一斉ひのきしんデー塩成会場が開催された。朝は少し肌寒い感じてしたが、次第に晴れ間も広がり、汗ばむ程になり、ひのきしん日和になりました。

午前9時に集合し、表統領のメッセージを出水支部長が代読され、後、支部長挨拶。そして木嶋区長から謝辞をいただきました。

作業の流れは燃物、不燃それぞれの袋に分けて入れて、いっぱいになったゴミ袋を道路まで運び出していきました。今年は海藻類が少なく、竹や木切れが多く、折れるものは小さく折って袋に詰めました。又大きいものは波が来ないところの堤防下まで運び込みました。

ゴミ袋の数は 燃えるゴミ191袋 埋立ゴミ 15でした。

参加人数は72名でした。大人56名少年会員16名でした。男性30人女性42名です。

また、新田さんの大人と子供に分けての抽選会、子どものシールやカードなど、大人にはお米などがあり、また四ツ浜さんのキヨミジュース提供など、皆さんとても喜んでおられました。

塩成区長の木嶋さんがマイク放送で呼びかけくださり、緒方さん、阿部さん、ゲルトさんが地元からご参加頂きました。ともに作業することでいろいろと交流ふれあうことができました。



支部活動記録 立教189年4月

月日	活動	場所	人数
4/1	支部にをいがけ	保内	9名
	ハートクリーン	市内	名
4/12	ハートクリーン	ぽけっとP	7名
4/9	少年ホームひのきしん	2班	6名

※どうぞお気軽にご参加ください。詳細はお近くの教会にお問い合わせ下さい。

【編集後記】ひのきしんデーは暑すぎず寒くなく絶好のお天気でした。また風が吹いていたので鯉のぼりが空を泳ぎ回っていました。一緒に作業していたドイツ人のゲルトさんが塩成に住んで一人で鯉のぼりを立てたと話された。来年はもつと鯉のぼりを増やしますと目を輝かせていた。また、地元の阿部さんという方は袋がなくなつたので自分の家に帰って持ってこられた。有料袋を提供してくださった。海岸をきれいにという思いを共有することで親近感と連帯感が生まれたと感じた。後日談として当日は竹やら木切れが多く、それらを燃やすゴミ袋に入れたが、担当者に聞くとそれらは燃やさず、埋め立てごみの扱いでほとんどの袋を割いて処分されたとのこと。その年によって海藻類が多く打ち上げられているときもあつたり、事前に想像して処分方法を相談することが大事だ。(陽)

【CM】貸し切りバスは 八幡浜観光バス(株) TEL (0894) 36-0868 八幡浜市保内町喜木1番耕地116-1